

高校一年生の頃

小豆澤 愛美子

大阪市の南のはしの方 戦災をまぬがれた古い家が残っていた阿倍野区や東住吉区も 高津の学区でした。

小・中学校は徒歩での通学でしたが 電車通学となり 近くに天王寺高校があるのに天高の校舎の近くを通り 阪和線の美章園駅から乗車して 天王寺駅で環状線に乗り換え 鶴橋で下車

電車に乗って学校へ行く 大勢の人の流れ 乗り間違いをしないか初めの大事な仕事でした。



写真 一年C組 担任は佐々木先生

上から 2列目 左から二人目 岡 峰根子 次は神 美代子 一人飛んで
安藤義信 勝本雄一 長谷川伸彦 筋田俊三 小坂田武

一番上の列 浅田行雄 大村道夫 赤井正一

私は 岡 峰根子さんの左です。

C組の教室は階段が横にある暗い部屋でした。

2学期の初めくらいから 一人ずつ順番に毎日のように思いますが 教壇のところへ上がって、考えた話をしなければなりませんでした。

私などやっと一人で 出かけられるようになったばかりで 教壇に上
がって話をする

今 一年生で一番思い出すのはこの事です。